



■令和元年度定期総会が開催されました

6月8日(土)、「彦三町家」にて、令和元年度定期総会ならびに講演会を開催しました。定期総会においては15名の本人出席、委任状16名があり、昨年度事業報告・収支報告・監査報告と今年度事業計画・収支計画および任期満了による役員選任案(重任)が承認されました。続いて、研究会活動報告として、「金澤町家巡遊2018」、「フードピア金沢2019」、「優良金澤町家」、「空き家の歴史的建築物と所有者等への流通と活用の促進支援の仕組みと課題(文化庁委託事業)」の報告を行いました。



定期総会の様子

総会終了後、「歴史的建造物の継承と活用等、まちづくりへの支援の取り組み」と題し、NPO法人川越蔵の会理事・事務局長の秋山修志氏による講演会が行われ、18名が参加しました。川越蔵の会は店蔵などの歴史的建造物が多く残る一番街商店街のまちづくりを支援する団体として1983年(昭和58年)に設立、まちづくりの支援や活動について、その歴史や取り組みの概要、地元との意識共有・合意形成への支援、信頼関係の構築、改修事例のほか、歴史的建造物等を手放す所有者が増加している背景をもとに、昨年度実施した「設計・施工者等情報集」を通じた事業者間の連携および所有者との関係構築の新たな取り組みについて紹介いただきました。



講師の秋山修志氏

【講演概要】

川越は都心から30キロ圏にあり、圏央道を利用した車のアクセスや鉄道の利便性も良く、人口は約35万人で東京のベッドタウンでもあるが、商業・工業・農業とバランスよく産業が発達している都市である。

明治26年に町の全戸数の1/3を焼く大火があり、大火の際に類焼を免れた建物の蔵造りにあやかり、それまで木造町家だったところを耐火建築の「店蔵」とした流れから大火後は蔵造りの町並みとなった。川越は明治時代に町並みができ、店蔵などは江戸の技術を用いて建てられているので、江戸の雰囲気を残している。蔵造りは重厚な屋根、厚さ約30cmの漆喰壁、箱棟、鬼瓦、観音開き扉、黒漆喰などが特徴的。

江戸から明治時代にかけて川越の商業の中心であった一番街商店街は、20世紀初頭に町の南側に鉄道駅ができたことから一旦は衰退、昭和50年代から60年代にかけて、所有者にとってはこの古い建物が使いづらく維持管理が大変、古くて格好が悪いということで、看板で建物を隠すように、近代的に見せるような流れがあり、地元の方たちがどのように生き残っていけばよいのだろうと「まちづくり」が始まり、それが軌道に乗って、現在のような観光客が多く来るまちなみに変遷していった。

1970年代はマンション建設による取り壊しの反対運動があり、反対するだけでなく、自分たちで何とかしなければならぬということで、1980年代に地元の商店主や行政、学識者とともに「川越蔵の会」が発足(1983年)。この頃は伝建地区が出来たばかりで凍結保存が主流であった中で、川越ではそれでは人を呼び込めないし、そこに住む所有者の生業が成り立つうえでの景観まちづくりを民間主導で目指した。

蔵の会では、まちづくり活性化イベントや商店街等へのアドバイス・協力、建物実測調査・建築提案、行政関係の委員会等への参画、歴史的建物の改修・活用など様々な活動を行っている。蔵の会はメンバーに建築士が多いが、組織自体は建築士事務所登録をしておらず、直接的に設計業務を請け負えないという一方で、イベント等を「営業活動」と捉えられず、信頼性が保たれる面もある。蔵の会に相談があった場合、メンバー数名が話を伺い、興味あるメンバーで議論等を実施し、クライアントに複数案を提案してクライアントに設計者を選んでもらう形をとるため、クライアントは複数案をみて、選択肢や視野が広がり、蔵の会内部としては公平性を保ちやすい。

講演の最後に、昨年度実施した「設計・施工者等情報集」を通じた事業者間の連携および所有者との関係構築の新たな取り組み内容について紹介があった。質疑応答では、参加者と活発な意見交換が行われた。

■金澤町家学生会議の活動報告

今年、「金沢市学生のまちづくりチャレンジ事業」と「いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業・我がまちづくり学生部門」の2事業が採択されました。

「我がまちづくり学生部門」では「救え！たまちゃん！！～解きあかせ、東山の謎～」と題して、8月8日に金沢市立馬場小学校で実施されました。45名の生徒が参加し、囚われた馬場小学校のマスコットキャラクター「たまちゃん」を救うべく、地域や金澤町家に関するクイズ型脱出ゲームを行いました。馬場小学校の先生や町会の方の協力もいただきました。子どもたちからは、「楽しかった」と感想をいただき、参加者みんなが笑顔で楽しめたことが印象的でした。町会と学生会議は、昨年度、雪かきボランティア協定を結んでおり、その縁が今回の活動につながっています。

金沢市学生のまちづくりチャレンジ事業では、「伝えよう町家の魅力、作ってみよう金澤町家」と題して、子どもたちと一緒に、町家の模型作成や町家のクイズを楽しむワークショップを開催予定です。



公開プレゼンテーションの様子



馬場小学校でのイベントの様子

■「金澤町家巡遊 2019」を開催します

今年の金澤町家巡遊は10月19日（土）、20日（日）、22日（火・即位礼正殿の儀）に開催予定です。

今回は、「金澤町家」に住む外国人にスポットを当て、お話を聞くイベントや町家の拝見などを企画中です。詳細が決まり次第お知らせします。

■令和元年度「優良金澤町家」認定

今年も「優良金澤町家の」候補を募集しております。自薦、他薦ともに歓迎いたします。

外観に歴史的な様式をよくとどめ、実際に利活用されている町家を対象とし、空き家や倉庫等は対象外です。
締切:令和元年10月11日（金）、選考結果の発表:令和元年11月中旬頃

認定書とプレートの授与式:令和元年12月7日（土）予定

応募の詳細は、NPO法人金澤町家研究会のホームページよりご覧いただけます。

URL <https://kanazawa-machiya.net/efforts/youyomachiya/>

■「金澤町家塾」を開催します

金沢市より「金澤町家塾事業」を受託し、金澤町家情報館（茨木町53）の利活用も兼ね、同館を拠点として2016年の開館以降、毎年開催しています。

10/12（土）には菊川界隈のまち歩きツアーと町家の改修を手掛ける建築士による講座、10/26（土）には本多町界隈のまち歩きツアーを予定しております。イベントの詳細、参加申込方法につきましては、金澤町家情報館ホームページや金沢市広報に掲載されます。

■優良金澤町家紹介コーナー

◇らくや（香林坊2丁目3-18）

香林坊の大通りに通じる小路に佇む居酒屋です。元は写真館だった建物らしく、平入屋根の町家左脇がコンクリートの洋風建築となっており、レトロな雰囲気を醸し出しています。1階はカウンターと洋間、2階は座敷と、色々なスタイルで食事が楽しめます。

【らくや 日祝休+不定休、11:30~14:00、18:00~22:00 <http://kanazawa-rakuya.com>】



らくや

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】 事務局

〒920-0854 金沢市安江町4番20号

Tel. 076-254-0647 / fax. 076-254-0657

E-mail kanazawa-machiya@nifty.com <http://kanazawa-machiya.net>